

---

## まとめに際して

### 日仏経済交流会(パリクラブ) 会長代行 渡辺昌俊

---

私たちパリクラブの活動のなかでも、日仏双方の色々な分野で活躍人たちをパネリストとして招き、多数の参加者が一体となって意見を交換するデバは、大事な行事の一つです。その時々の日仏共通のテーマについて、お互いに自由な発言を交わすことは、たとえ結論がなくても、これで相互理解を深め、無益な誤解を取り除く一助になれば、経済交流活動促進に寄与することにもなるのではないのでしょうか。

第1回 生活を通して見る日仏の教育事情と展望 (98年2月)

第2回 日仏技術協力のあるべき姿を求めて (98年6月)

第3回 マルチメディアの近未来性 (98年9月)

第4回 第三国における日仏企業協力 (98年12月)

今般、上記4回のデバのテーマを決めるにあたっては、ずいぶん議論を重ねました。そして、経済と直接、関係のないようなテーマも取り上げることにしました。幸いこの企画については、日仏協会が共催相手になって日仏会館ホールを使用料無償で提供して下さいました。また、笹川日仏財団が資金援助を快諾して下さいました。おかげさまで、一貫して絶好の人と場所を得、デバ後のピュッフエは、貴重な日仏交流の場にもなりました。しかし、一回で十分に語りきれなかった問題もありました。打ち合わせが不十分なこともありました。反省点は多々ありますが、次の年に生かしたいと考えています。改めて、活字となったものを読み返して見て、また違ったニュアンスも発見していますが、忌憚のないご意見、ご感想などをお聞かせいただければ幸いです。この4回の催しに日仏多数の方々に参加していただき、デバを盛り上げていただき、まことに有難うございました。また、ご多忙にも拘わらず、準備にも時間を割いていただいたパネリスト各位に重ねて御礼申し上げます。それに、日本人は日本語で、フランス人はフランス語で行った発言とお互いの意思の疎通を支えて下さった同時通訳者の方に厚い感謝の念を捧げます。末筆ですが、この4回のデバを全面的に支援して下さいました日仏協会と笹川日仏財団にあらためて厚く御礼申し上げます。